

令和元年度 事業報告

I 理事会報告

【開催状況】

	日 時	出席者		
		理事	監事	事務局
第1回	令和元年 5月21日(火) 14:00~15:45	20	3	2
臨時	令和元年 6月28日(金) 16:15~	21	2	2
第2回	令和元年 7月17日(水) 14:00~14:55	21	3	2
第3回	令和元年 10月24日(木) 14:00~15:15	16	3	2
第4回	令和元年 12月17日(火) 14:00~15:20	19	3	2
第5回	<法人法第96条によるみなし決議> 決議日 令和2年3月23日(月)	—	—	—

第1回

【協議事項】

- 平成30年度事業報告(案)
会務(会長)、事業報告(専務理事、常務理事) 職能委員会(各職能理事) 委員会(担当理事)、地区支部(地区理事)
- 令和元年度定時総会議案について
 - 議案第1号 静岡県看護協会名誉会員の推薦(案)
 - 議案第2号 改選役員及び推薦委員会委員の選出
 - 議案第3号 令和2年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出
 - 議案第4号 平成30年度決算書(案)及び監査報告
- 令和元年度定時総会 静岡県看護協会会長表彰について

【報告事項】

- 令和元年度 静岡県委託事業の受託について
- 令和元年度 特別委員会委員について
- 令和元年度 行政機関・関係団体の役員・委員の就任について
- 令和元年度会費納入状況
- その他
 - 令和元年度行事計画
 - 協会活動参加者への傷害保険について

臨時

【協議事項】

- 会長(代表理事)及び副会長の選定
- 専務理事、常務理事の選定
- 会長の職務を代理する副会長の順序
- 専務理事の職務を代理する常務理事の順序
- 看護師職能理事の委員会委員長を選定

【報告事項】

- 令和元年度行事予定表
- 役員の見解等について
- 役員の見解賠償責任と免責

第2回

【協議事項】

- 1 令和元年度事業報告
総務部、教育研修部、事業部、ナースセンター
- 2 令和2年度定時総会の日時及び場所について

【報告事項】

- 1 令和元年度定時総会提案及び対応について
- 2 令和元年度会費納入状況
- 3 公益社団法人静岡県看護協会認定看護管理者教育課程細則の一部改正について

第3回

【協議事項】

- 1 令和元年度中間事業報告
 - (1) 会務庶務報告
 - (2) 教育研修部報告
 - (3) 事業部報告
 - (4) ナースセンター報告
- 2 令和元年度中間会計報告
- 3 公益社団法人静岡県看護協会規程の一部改正（案）
 - ・旅費規程の一部改正（案）
 - ・給与規程の一部改正（案）

【報告事項】

- 1 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告
- 2 関係機関・関係団体の役員・委員の就任について
- 3 令和2年度「看護の日・週間」企画実行委員会委員について
- 4 令和元年度会費納入状況
- 5 公益社団法人静岡県看護協会要綱の制定
 - ・自家用自動車の業務使用に関する取扱要綱の制定
 - ・自家用自動車通勤取扱要綱の制定

第4回

【協議事項】

- 1 令和2年度静岡県看護協会重点事項（案）
- 2 令和2年度教育計画（案）
- 3 令和2年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
- 4 令和2年度予算関係主要項目の改定（案）
 - ・非常勤等職員就業及び給与規程の一部改正（案）
 - ・理事報酬及び退任報償金支給等規程の一部改正（案）

【報告事項】

- 1 令和元年度会費納入状況
- 2 令和2年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について
- 3 令和元年度自民党県連・厚生問題対策連絡協議会への要望事項
- 4 令和元年度11月12日常任理事会承認事項
 - ・受講料等徴収内規の改正
 - ・講師謝礼及び旅費支払内規の改正
 - ・定款細則の一部改正
 - ・看護研究倫理委員会規約の改正

第5回 <法人法第96条によるみなし決議> ※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため

【協議事項】

- 1 令和2年度事業計画（案）
- 2 令和2年度収支予算書（案）
- 3 「職能委員会」委員の選任（案）
- 4 「委員会」委員の選任（案）
- 5 公益社団法人静岡県看護協会 規程の一部改正（案）

【報告事項】

- 1 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 2 行政機関・関係団体の役員・委員の就任状況について
- 3 令和2年度 特別委員会委員について
- 4 令和元年度会費納入状況
- 5 令和2年度行事計画

II 常任理事会報告

【開催状況】

		出席者	
		理事	事務局
第1回	平成31年4月9日(火) 9:30~10:40	6	4
第2回	令和元年5月14日(火) 9:30~11:50	6	2
第3回	令和元年6月11日(火) 9:30~12:05	6	3
第4回	令和元年7月9日(火) 9:30~11:40	6	2
第5回	令和元年8月14日(水) 9:30~12:15	6	2
第6回	令和元年9月10日(火) 9:30~12:15	6	5
第7回	令和元年10月16日(水) 10:00~12:30	6	2
第8回	令和元年11月12日(火) 9:30~12:30	6	4
第9回	令和元年12月10日(火) 9:30~12:00	6	2
第10回	令和2年1月15日(水) 9:30~11:45	6	2
第11回	令和2年2月12日(水) 9:30~11:30	6	5
第12回	令和2年3月10日(火) 9:30~12:10	5	2

第1回

【協議事項】

- 1 静岡県看護協会名誉会員の推薦について
- 2 令和元年・令和2年度静岡県看護協会役員選挙候補者について
- 3 令和元年・令和2年度推薦委員会委員候補者について
- 4 令和2年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者について
- 5 令和元年度静岡県看護協会会長表彰候補者について
- 6 令和元年度定時総会進行予定表(案)について
- 7 令和元年度「特別委員会」委員候補者について
- 8 令和元年度静岡県委託事業の受託について
- 9 第1回医療・福祉施設等看護代表者会議(案)について
- 10 第1回地区支部長連絡会議(案)
- 11 「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業」について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 令和元年度日本看護協会代議員・予備代議員について
- 3 職能委員会報告
- 4 事業部報告
- 5 令和元年度ナースセンター事業計画について
- 6 その他
 - ・協会活動参加者への傷害保険について

第2回

【協議事項】

- 1 平成30年度事業報告(案)
- 2 平成30年度決算書(案)
- 3 第1回医療・福祉施設等看護代表者会議(案)
- 4 第1回地区支部長連絡会議(案)
- 5 行政機関・関係団体の役員・委員候補者の推薦
- 6 第1回定時理事会(案)
- 7 臨時理事会(案)

- 8 役員・委員研修会（案）
- 9 公益社団法人静岡県看護協会認定看護管理者教育課程細則の一部改正について
- 10 「第41回母子保健奨励賞」「第6回昭和上條医療賞」「第17回SGH看護特別賞」
「静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒章」候補者推薦について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 監事監査について

第3回

【協議事項】

- 1 令和元年度定時総会運営会議について
- 2 令和元年度役員・委員研修会について
- 3 令和元年度静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議について
- 4 令和元年度地区支部会議（案）
- 5 公益社団法人静岡県看護協会認定看護管理者教育課程細則の一部改正について
- 6 看護職の心に残る看取りエピソード集表彰式について
- 7 「訪問看護・介護予防訪問看護契約書」等書類の一部改定に関する事

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告
- 5 役員損害賠償責任保険について

第4回

【協議事項】

- 1 令和元年度定時総会提案及び対応について
- 2 令和2年度定時総会の日時及び場所について
- 3 第2回定時理事会 議案について
- 4 静岡県看護協会・看護連盟合同研修会について
- 5 訪問看護出向研修支援業務について
- 6 令和元年度 防災会議について
- 7 令和元年度知事功労別表彰（保健衛生功労）候補の推薦について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 「看護の日・看護週間」記念事業報告

第5回

【協議事項】

- 1 令和2年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル開講に関する定数に関する検討
- 2 訪問看護ステーションにおける契約書の変更について
- 3 看護研究倫理委員会規約の一部改正（案）
- 4 自家用車の業務使用に関する取扱要綱（案）
- 5 「第48回医療功労賞（海外部門）」「秩父宮妃記念結核予防保健看護功労賞」候補者推薦について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告

- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

第6回

【協議事項】

- 1 令和2年度 重点事項・予算編成について
- 2 看護研究倫理委員会規約の一部改正（案）
- 3 自家用車の業務使用に関する取扱要綱（案）
- 4 地区支部予算作成について
- 5 まちの保健室Ⅰ・Ⅱについて
- 6 ヘルシーワークプレイスについて
- 7 新たな財政支援制度（地域医療介護総合確保基金）事業提案書について
- 8 令和2年度「看護の日・週間」企画実行委員会委員の推薦（案）

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告

第7回

【協議事項】

- 1 令和元年度第1回委員長・地区支部長合同会議
・令和2年度 重点事項（案） ・令和2年度事業計画立案及び予算について
- 2 令和元年度中間会計報告
- 3 令和2年度教育計画（案）
- 4 消費税増税に伴う受講料等の変更について
- 5 ヘルシーワークプレイス取り組みの実際について
- 6 各種表彰候補者推薦について
・社会貢献者表彰・第9回杉浦地域医療振興賞・第16回ヘルシー・ソサエティ賞
- 7 その他
・まちの保健室Ⅰ型・Ⅱ型について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告
- 3 職能委員会報告
- 4 令和元年度中間事業報告
 - (1) 会務庶務報告
 - (2) 教育研修部報告
 - (3) 事業部報告
 - (4) ナースセンター報告

第8回

【協議事項】

- 1 令和2年度 静岡県看護協会 重点事項（案）
- 2 令和2年度 教育計画（案）
- 3 第2回委員長・地区支部長合同会議（案）
- 4 第2回地区支部長連絡会議（案）
- 5 第2回静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議（案）

- 6 令和2年度 日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
- 7 令和2年度 日本看護協会会長表彰候補者の推薦について
- 8 第2回静岡県看護協会・看護連盟合同研修会（案）
- 9 看護研究倫理委員会規約の一部改正（案）
- 10 ヘルシーワークプレイス取り組みの実際について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 東京オリンピック・パラリンピック競技大会メディカルスタッフについて
- 5 ナースセンター報告

第9回

【協議事項】

- 1 令和2年度 教育計画（案）
- 2 第4回定時理事会（案）
- 3 第2回医療・福祉施設等看護代表者会議（案）
- 4 第2回静岡県看護協会・看護連盟合同研修会（案）
- 5 令和2年度看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業について
- 6 静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議（案）
- 7 令和2年度 日本看護協会会長表彰候補者の推薦について
- 8 令和2年度 行事計画

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告

第10回

【協議事項】

- 1 第2回医療・福祉施設等看護代表者会議
- 2 令和2年度会費収入予算について
- 3 大規模修繕の必要箇所について
- 4 旅費にかかる日当の扱いについて
- 5 臨時職員等に関する規定改正について（案）
- 6 自家用自動車を通勤に利用する者の手当（駐車場代等）について
- 7 まちの保健室Ⅰ型・Ⅱ型について
- 8 行事参加者傷害保険について
- 9 訪問看護師出向支援事業報告会について
- 10 看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業アンケートについて
- 11 精神科看護業務功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 令和2年度教育計画
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告
- 6 その他
 - ・2020年度日本看護協会代議員研修会への業務執行理事の派遣等について

第 11 回

【協議事項】

- 1 静岡県看護協会規程の一部改正（案）について
- 2 令和 2 年度定時総会後の講演会について
- 3 第 72 回保健文化賞候補者の推薦について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 令和 2 年度「看護の日・看護週間」記念行事について
- 4 ナースセンター報告

第 12 回

【協議事項】

- 1 令和 2 年度 事業計画（案）
- 2 令和 2 年度 当初収支予算書（案）
- 3 令和 2 年度 「職能委員会」「委員会」委員補欠候補者について
- 4 令和 2 年度 「特別委員会」委員候補者について
- 5 公益社団法人静岡県看護協会 規程の一部改正（案）
- 6 認定看護管理者教育課程規則の一部改正（案）
- 7 「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業」について
- 8 新型コロナウイルス感染症対策に伴う次年度への事業継続について
- 9 令和 2 年度 行政機関・関係団体役員・委員について
- 10 令和 2 年度 静岡県看護協会定時総会講演会（案）

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会 会費納入状況
- 2 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 3 職能委員会報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

Ⅲ 事業報告

* 下線は新規事業

○事業項目1 教育等看護の質の向上に関する事業

事業細目	内 容
(1) 人材育成を促進するための継続教育	<p>①看護実践能力の育成 (13 研修) 計 1,076 名受講</p> <p>②組織的役割遂行能力の育成 (19 研修) 計 1,090 名受講</p> <p>③自己教育の推進 (1 研修) 69 名受講</p> <p>④特別研修 (3 研修) 計 90 名受講</p>
(2) 資格認定教育	<p>①認定看護管理者教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル (22 日間) 84 名修了 ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル (32 日間) 35 名修了 ・認定看護管理者教育課程サードレベル (33 日間) 30 名修了 ・セカンドレベルフォローアップ研修 (平成 30 年度修了者) 8 月 6 日 (火) 34 名受講
(3) 静岡県からの受託研修	<p>①新人看護職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新人看護職員研修－多施設合同研修－(6 日間)」38 名修了 ・「新人看護職員指導者研修 研修責任者研修(5 日間)」21 名修了 ・「新人看護職員指導者研修 教育担当者研修(5 日間)」39 名修了 ・「新人看護職員指導者研修 実地指導者研修(5 日間)」35 名修了 <p>②静岡県専任教員養成講習会 令和元年 6 月 3 日～令和 2 年 2 月 14 日 26 名修了</p> <p>③重症心身障害児(者)対応看護従事者養成研修 8 月 3 日(土) 56 名修了</p> <p>④看護職員実習指導者等講習会－特定分野－(7 日間)」16 名修了</p> <p>⑤看護教員継続研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長段階別研修(3 日間)26 名修了 ・トピックス研修(1 日)88 名修了 <p>⑥高齢者権利擁護等推進事業「看護実務者研修」(2 日間)</p> <p>12 月 15 日(日)・16 日(月) 静岡県看護協会 57 名受講</p> <p>⑦看護の質向上促進研修 I・II 327 名受講 (I-184 名 II-143 名)</p> <p>I 伊豆 9 月 12 日(木) 伊東市民病院 8 名受講</p> <p>東部 11 月 14 日(木) 静岡がんセンター 50 名受講</p> <p>中部 令和 2 年 1 月 10 日(金) 静岡県看護協会 74 名受講</p> <p>西部 8 月 1 日(木) アクトシティ浜松 52 名受講</p> <p>II 伊豆 10 月 5 日(土)・11 月 9 日(土) 下田メディカルセンター 10 名受講</p> <p>東部 9 月 21 日(土)・10 月 19 日(土) プラサヴェルデ 32 名受講</p> <p>中部 8 月 31 日(土) あざれあ 24 名受講</p> <p>令和 2 年 2 月 1 日(土) 静岡県看護協会 15 名受講</p> <p>西部 8 月 24 日(土)・9 月 7 日(土) アクトシティ浜松 62 名受講</p> <p>研修科目：感染予防対策・医療安全対策・認知症看護・地域包括ケア支援における看護職の役割</p> <p>⑧看護職員管理者の相互研修</p> <p>「暮らしをつなげる看護職員のための研修」(4 日間) 61 名受講</p> <p>3 地区合同 6 月 25 日(火)・7 月 2 日(火) 静岡県看護協会</p> <p>東部 10 月 2 日(水) 三島商工会議所 24 名受講</p> <p>中部 8 月 29 日(木) 静岡県看護協会 15 名受講</p> <p>西部 9 月 4 日(水) アクトシティ浜松 22 名受講</p> <p>⑨静岡県看護職員認知症対応力向上研修－認知症ケア体制構築推進者研修－(3 日間)</p> <p>7 月 5 日(金)・8 日(月)・9 日(火) 静岡県看護協会 69 名受講</p>

(4) 看護研究	⑩病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修（3日間）550名受講 東部 7月26日（金）プラサヴェルデ 223名受講 中部 10月17日（木）グランシップ 223名受講 西部 6月18日（火）アクトシティ浜松 104名受講 ①静岡県看護協会「静岡県看護学会」の開催令和2年1月18日（土）363名参加 ②地区支部による「看護実践報告会」等の開催
(5) 学術研究振興支援	①研究能力の育成 ・「看護研究の第一歩－研究テーマの絞込み－」（2会場） 【東部】7月6日（土）40名修了、【中部】6月19日（水）54名修了 ・「看護研究の基礎－研究計画書にトライ－」（2会場）（3日間） 【東部】8月8日（木）・9日（金）・9月12日（木） 17名修了 【中部】8月22日（木）・23日（金）・9月21日（土） 23名修了 ・「効果的なプレゼンテーション技法」10月26日（土） 53名修了

○事業項目2 看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業

事業細目	内容
(1) 保健師・助産師・看護師業務に係る事業	①保健師職能委員会 10回開催 ・保健師研修会 10月19日（土）40名参加 ・3職能交流会 9月21日（土）121名参加 ・保健師・助産師合同集会 1月25日（土）63名参加 ②助産師職能委員会 11回開催 ・助産師実践能力強化研修－周産期領域の倫理的課題－ 7月6日（土）46名参加 ・3職能交流会 9月21日（土）121名参加 ・保健師・助産師合同集会 1月25日（土）63名参加 ③看護師職能委員会Ⅰ（病院領域） 10回開催 ・准看護師研修会・進学説明会 7月6日（土）55名参加 ・中間管理者交流会 12月7日（土）112名参加 ・3職能交流会 9月21日（土）121名参加 ④看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域） 11回開催 ・地区別看護職員研修交流会（3会場） 合計100名参加 【西部】10月18日（金）33名参加 【東部】11月22日（金）24名参加 【中部】12月14日（土）43名参加 ・3職能交流会 9月21日（土）121名参加 ⑤看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 11月22日（金）134名受講
(2) 医療安全の推進	①医療安全情報の発信 ②医療・看護安全相談 相談件数：39名 相談者：看護職17名、県民22名
(3) 看護制度に関する事業	①准看護師の進学と資質向上への支援 ・看護師2年課程（通信制）に関する情報提供 ・准看護師研修会（再掲） ・修学金制度の周知 ②看護関連政策の充実 ・静岡県への要望 ・静岡県議会への要望 ・静岡県看護連盟との連携 ③特定行為研修受講者の増加に向けた広報普及活動 ④看護政策推進のための組織強化事業（日看協モデル事業）参加

○事業項目 3 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

事業細目	内 容
(1)働き続けられる職場環境づくりの推進	<p>①看護職の労働条件・労働環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回労働環境に関する研修会ーハラスメント対応について学ぶー 6月22日(土)もくせい会館 70名受講 ・第2回労働環境に関する研修会「ーベテラン看護職がやりがいを持って働き続けられるー」 11月9日(土)静岡県看護協会 48名受講 ・「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して」ー看護管理者の取り組みー 5月26日(日)静岡県看護協会 76名受講 ・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターとの連携推進
(2)看護職の確保・定着及び就業支援の推進	<p>ナースセンター事業 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、静岡県より委託を受け実施している事業である。</p> <p>①ナースバンク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職の求職相談・医療機関等からの求人相談(求人施設訪問26施設) ・求人・求職マッチング強化 ・看護職離職時等届出制度の推進と活用による就業支援(届出数898名) ・再就業移動相談:県内14カ所のハローワークにおける移動相談(相談者282名) ・ミニ就業相談会:県内13カ所のハローワーク(参加施設171施設) ・ナースセンター・ハローワーク連携事業による再就業支援の実施(連携279名) ・ハローワーク職員セミナー:県内15カ所のハローワーク(職員213名参加) ・静岡県看護職員確保対策連絡協議会の開催(2回) <p>②潜在看護職員等再就業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再就業準備講習会(7回:93名参加) ・介護施設等再就業研修(3回:35名参加) ・体験型再就業チャレンジ研修(2名参加) ・地域でつくる協働開催型就業相談会:ナースのお仕事フェア(8会場で開催:来場者158名、参加施設115施設) ・看護技術演習:本所・東部支所・西部支所の3ヶ所で開催(121名参加) ・県内外者へのUIターン促進 (移住フェア参加2回、県外看護大学訪問8校、県内高等学校訪問5校、意見交換会2回) ・交流会開催:子育てママの生き生きカフェ(3回:12名参加) <p>③「看護の心」普及・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護の日・週間」記念事業(来場者:344名) ・ふれあい看護体験(19施設で実施、52名参加) ・高校生1日ナース体験(126校から参加、1,571名参加) ・看護の出前授業:小・中・高等学校(36回開催、3,737名参加) ・看護職ころごし育成セミナー(163名参加) ・看護学校等進路説明・相談会(3会場:928名参加) <p>④離職防止対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談機能の充実(悩み事相談:139件) ・退職者(個人)調査(回収数:234名) ・再就業者フォローアップ研修(2回:74名参加) ・セカンドキャリアセミナー(2回:49名参加) ・ナースセンター新人看護職員研修(42名参加) ・新人教育に関する相談及び助言(2件) <p>⑤看護職のキャリアと働き方支援による地域に必要な看護職確保推進事業」への取組</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・藤枝市にワーキンググループ設置（地域の課題に応じた具体策の検討・実施） ・主な事業：ナースのお仕事フェア、子育てママの活き活きカフェ ⑥ナースセンター連絡会議（7回） ⑦ナースセンター職員研修（2回：内1回は他県ナースセンターと合同開催） ⑧看護職員確保のための諸会議への参画 ⑨広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・医療施設訪問（21施設：353名の看護管理者に広報） ・看護師等学校養成所訪問（15校：728名の看護学生に広報） ・市町広報誌等への掲載 ・ナースセンターホームページとメールマガジンの活用 ・看護しずおか「ナースセンターだより」掲載（年6回） ・ナースセンターだよりプラス発行（年3回） ・「ナースのお仕事ガイドブック2020」3,000部発行（県内165施設の求人情報掲載） ・高校生向け広報誌「看護へGO!」1,000部発行 ・マスコミへの情報提供
--	--

○事業項目4 在宅ケアの推進及び支援に関する事業

事業細目	内 容
(1) 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の運営及び地域支援	<p>①協会立訪問看護ステーション・指定居宅介護支援事業所の運営 訪問看護実績：訪問看護利用者延数 7,415人 訪問看護延件数 35,188件 居宅介護支援事業実績：居宅サービス計画数1,686件 介護予防ケア計画数2件</p> <p>②地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション清水・指定居宅介護支援事業所 訪問看護S/T清水 第5回介護者の会「さくらばしサロン」、第11回訪問看護ステーション清水 地域交流会、第7回地域住民交流会 健康教室 ・訪問看護ステーション大東・指定居宅介護支援事業所 訪問看護S/T大東 第5回家族交流会、JA健康フェア、南部大東ふくしあ健康相談、南部大須賀ふくしあ健康相談、在宅での感染対策を学び、伝授できる研修会 ・訪問看護ステーション掛川・指定居宅介護支援事業所 訪問看護S/T掛川 第6回スイートピーの会（家族交流会）、かけがわ健康フェア、掛川市ふれあい広場、東部ふくしあ出張健康相談、西部ふくしあ出張健康相談、人生の最終段階について考える会、在宅療養に関する研修会 ・訪問看護ステーションいわた・指定居宅介護支援事業所 訪問看護S/Tいわた 第6回いわたキッズと親の交流会、いわたふれあい広場、ふくでふれあいまつり、南交流センターまつり、第3回いわたナース交流会
(2) 市、地域包括支援センター等との連携協働	<p>①行政、看護・介護、福祉等多職種と連携した総合的支援による訪問看護サービスの提供促進</p> <p>②地域包括支援センターと訪問看護ステーションとの合同会議、研修会、医療・介護関係者の事例検討会の開催</p>
(3) 訪問看護サービスの質向上及び人材育成	<p>①訪問看護師養成講習会 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム 8月2日（金）・9月17日（火）・10月9日（水）・令和2年1月31日（金） 静岡県看護協会 28名受講 集合研修4日間 実習2日間</p> <p>②看護職員管理者の相互研修 「暮らしをつなげる看護職員のための研修」（再掲）</p> <p>③訪問看護における「特定行為に係る看護師の研修制度」活用促進</p>

	④訪問看護出向研修支援事業（県受託）		
	・4病院・4訪問看護ステーションが参加		
	出向元施設名	出向先施設名	出向期間
	三島中央病院	総合介護事業所 瑞	令和元年10月1日～12月31日
	藤枝市立総合病院	志太訪問看護ステーション	令和元年10月1日～12月31日
	中東遠総合医療センター	トータルケアひかり	令和元年10月1日～12月31日
	浜松労災病院	訪問看護ステーション浅田	令和元年10月1日～12月31日
(4)訪問看護関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護出向研修支援事業全体研修会 12月23日（月）静岡県看護協会 33病院・26訪問看護ステーション参加 ・訪問看護出向研修支援事業報告書作成関係機関へ送付 ・（報告会開催延期） 		
	①静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回8月8日（木）静岡県看護協会 21名出席 ・第2回令和2年2月12日（水）静岡県看護協会 27名出席 ②日本訪問看護財団との連携		

○事業項目5 地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業

事業細目	内容
(1)地域看護活動の推進	①8 地区支部の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室：Ⅰ型、Ⅱ型（イベント併設型） ・看護教室・健康教室の開催 ・市民講演会の開催 ・いのちを大切に作る授業、出前授業（ナースセンターとの共催） ・看護の日・週間記念行事の開催 ・地域防災訓練への参加 ・地域行政・地域住民との連携事業 ・静岡県看護協会・訪問看護ステーション協議会連携会議 ②病院・施設との看看連携・協働等 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年看看連携を基盤とした地域包括ケア推進事業報告会 5月12日（日） あざれあ大ホール 222名参加 ・令和元年看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業 7地域参加
(2)他機関、団体との連携活動	①「看護の日・看護週間」記念事業 西部地区支部・中東遠地区支部 5月11日（土）イオンモール浜松志都呂店 来場者：344名 ②メディアメッセージ2019 静岡地区支部・志太榛原地区支部 9月28日（土）29日（日）来場者：約9,000名 看護ブース来場者延3,782名 ③しずおか元気応援フェア 10月12日（台風の影響で中止）10月13日開催 まちの保健室来場者延193名 ④あざれあメッセ 静岡地区支部 10月26日（土） あざれあ2階大会議室 まちの保健室来場者延341名
(3)ストレス緩和への支援	①「ケアする人のケア」 各訪問看護ステーションにおける在宅でケアする人、看護・介護職員へのストレス緩和支援 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション清水 第5回介護者の会「さくらばしサロン」（再掲） ・訪問看護ステーション大東 第5回家族交流会（再掲） ・訪問看護ステーション掛川 第6回スイートピエの会（家族交流会）（再掲） ・訪問看護ステーションいわた 第6回いわたキッズと親の交流会（再掲）

○事業項目 6 防災及び災害支援に関する事業

事業細目	内 容
(1) 防災対策に関する事業	① 防災計画に沿った活動 ・ 防災会議を年 1 回開催 ・ 衛星携帯電話の保守・活用 ・ 防災計画書の追加・修正 ・ 備蓄品の確保 ② 静岡県総合防災訓練への参画 ③ 地区支部における市町の防災会議への参画
(2) 災害時の看護支援活動の整備	① 災害支援ナースの育成研修の実施 ・ 災害看護地区研修の実施 ・ 災害支援ナースの登録・管理 ・ 災害支援ナース育成研修の実施 ・ 災害支援ナース登録者研修 ② 「災害時支援ネットワークシステム」による災害支援ナースの派遣合同訓練および派遣 ③ 災害支援ナース派遣に関するサポート体制の整備等 ④ 災害看護一般研修Ⅰ、Ⅱの実施 ⑤ 行政・他団体と連携した医療救護活動体制の構築
(3) 日本災害看護学会	日本災害看護学会組織会員として協力

○事業項目 7 その他・本会の目的を達成するために必要な事業

・公益目的事業

事業細目	内 容
(1) 広報	① 広報委員会活動 ・ 「看護しずおか」年 6 回発行 ・ 公式ホームページの充実 ・ モニター会議の開催 ・ 看護関連情報及び看護協会事業活動の更新 ② 県民及び他機関・他団体への広報強化 ・ マスコミを通じた広報活動 ・ 看護協会パンフレットの作成・普及 ③ 看護の心普及・啓発等（再掲） ・ 看護の日・週間記念行事（再掲） ・ 看護の出前授業（再掲）
(2) 施設の貸与	看護に関する研修会等を行う関係団体への研修室・会議室の貸出

・収益事業等会計

(1) 会員・役員支援	① 会員の福利厚生 ・ 各種表彰・受章候補者の推薦 ア 叙勲 令和元年春 瑞宝単光章 武田 恵子 小林 貴子 河合みどり 令和元年秋 瑞宝双光章 青木 春美 イ 令和元年度日本看護協会長表彰 大瀧 厚子 神谷 瀧子 久保田君枝 茂木 光子 松井千賀子 ウ 令和元年度静岡県看護協会長表彰 飯沼むつみ 伊藤 葉子 春日三千代 勝又 理恵 加納 江理 塩田美佐代 鈴木かおり 鈴木ひろみ 中野悦代 原澤 純子 星ともこ 牧野仁美 村井京子 山内 恭子 エ 感謝状 小野田 武 廣瀬 清久 ・ 慶弔見舞 ・ 災害見舞 ② 役員・委員の損害保険対応 ・ 日本看護協会「看護職賠償責任保険制度」の紹介
(2) 看護研究費助成	① 看護研究費助成事業 ② 看護職員海外研究視察奨励助成事業

・法人会計

(1) 協会組織の強化

①公益社団法人としての組織整備

・諸規定の整備

<令和2年3月23日施行>会計経理規則

<令和2年4月1日施行>給与規程・施行細則 理事報酬及び退任報奨金支給等規程 旅費規程 非常勤等職員就業及び給与規程・施行細則

②会員数の増加促進

・看護政策推進のための組織強化事業（日看協モデル事業）参加（再掲）

・協会のしおり等の送付 ・看護学校行事等への出席

・退職会員への加入継続の奨励

○会員の内訳と前年比較

		保健師	助産師	看護師	准看護師	総数
就業者数	H30	1,718	998	32,935	6,356	42,007
	H28	1,626	952	31,000	6,522	40,100
会員数	R1	531	816	19,507	749	21,603
	H30	548	806	18,982	793	21,129
入会率	R1	30.9%	81.7%	59.2%	11.7%	51.4%
	H30	31.8%	80.7%	57.6%	12.4%	50.2%

※就業者数は平成30年12月31日実施 静岡県医療従事者調査による。

③新入会員研修会 6回開催 参加者 合計665名

④地区支部会員交流会

⑤地区支部との支援と連携強化

⑥活動拠点の整備・充実

(2) 円滑な組織運営

①運営に関する会議

・定時総会 6月28日（金）グランシップ 中ホール大地
参加者 426名 委任状 15,261名 計 15,687名

・理事会 5回開催

・常任理事会 12回開催

・医療・福祉施設等看護代表者会議

第1回 5月30日（木）静岡県看護協会 参加者 145名

第2回 1月15日（水）静岡県看護協会 参加者 111名

1月17日（金）プラサヴェルデ 参加者 63名

・委員長・地区支部長合同会議

第1回 10月16日（水）参加者 27名

第2回 12月10日（火）参加者 25名

・地区支部長連絡会議

第1回 5月21日（火）参加者 13名

第2回 12月17日（火）参加者 12名

・推薦委員会 10回 ・特別委員会 年6回～12回程度

・総会運営会議 6月13日（木）

・選挙管理委員会 2回

・地区支部会議 1回

②役員・委員の資質向上

・役員委員研修会 7月31日（月）参加者 140名

「看護チームにおける看護職の業務のあり方を見直そう」

③日本看護協会との連携

・通常総会（令和元年6月6日（木）～7日（金））

・理事会 年5回以上 ・代議員研修会

・地区別法人会員会 ・全国職能委員長会

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区別職能委員長会 ・ 看護労働担当者会議 ・ 教育担当者会議 ・ ナースセンター事業担当者会議 ・ 日本看護学会運営会議 ・ 訪問看護連絡協議会全国会議 ・ 医療安全推進会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策責任者会議 ・ 新会員情報管理体制担当者会議 ・ 災害看護担当者会議 ・ ナースセンター相談員研修 ・ 広報担当役員会議 ・ 地区別事務担当者会議
(3) 会員サービスの充 実	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護協会ホームページの活用推進と相談への対応 ② 図書室の管理・運営 ③ ナースシップ定着への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規・継続申し込みの受付 ・ 会員入会手続きに関する案内と対応 	
(4) 渉外活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 関連機関・関係団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後援、推薦、協賛依頼への協力
(5) 施設管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護協会会館の維持管理 ③ 備品の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ② 施設設備の整備・保守・管理 ④ 図書室の充実

以上、その他事業報告等の補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していません。

IV 委員会報告

職能委員会

(I) 保健師職能委員会

委員長 土屋厚子

1 活動目標

- (1) 地域包括ケアシステム推進に向けた保健師の資質の向上
- (2) 職域間の保健師の連携強化
- (3) 会員拡大の推進

2 委員会開催 10回

3 活動内容

(1) 保健師研修会

日時 令和元年10月19日(土) 13:00~16:30 参加者 40名

内容 ①保健師職能委員会報告

②「すぐ使える運動指導の実際」

講師 木本愛郎(静岡県総合健康センター所長 健康運動指導士)

「行動変容につながる栄養指導」

講師 安本美登里(JA 静岡厚生連遠州病院 栄養科長 管理栄養士)

(2) 3職能合同交流会

日時 令和元年9月21日(土) 10:00~16:00

場所 静岡県総合社会福祉会館シズウェル 参加者 121名

テーマ 「なぜ起こるのか虐待、まずその実態を知ろう」

～考えてみよう3職能で予防できること～

内容 基調講演「なぜ起こるのか虐待、虐待の実態を知ろう」

講師 中板育美(武蔵野大学看護学部 教授)

シンポジウム「静岡県内の虐待の実態を知り、予防対策を考えよう」

グループワーク「みんなで虐待予防対策を考えよう」

(3) 保健師・助産師合同集会

日時 令和2年1月25日(土) 13:00~16:00

場所 静岡県看護協会 第1研修室 参加者 63名(保健師31名 助産師32名)

テーマ 「産後ケアを病院から地域へつなぐ」取り組み事例発表会

内容 ・事例発表及びグループワーク

・情報提供 静岡県子ども家庭課より

「リトルベビーハンドブックの活用・子育て世代包括支援センターの役割」

・産後ケア事業が始まった経緯とこれからのあり方

・産後うつについて及び対応の仕方

(4) 会員拡大

職能集会、研修会においての入会勧奨等で会員獲得に努めている。

4 今後の課題

今年度は、地域包括ケアシステム推進のために、3職能合同交流集会や保健師助産師合同集会を開催し、保健師の質の向上に努めた。次年度は、個別対応の力を高め、子どもや高齢者、障がい者も含め地域に責任を持った活動ができるための研修について検討していく。

5 委員 6名

(保) 深田裕子 佐原直美 鈴鹿和子 山下博美 岩井節子 野崎敦子

(担当理事) 土屋厚子

(Ⅱ) 助産師職能委員会

委員長 西郷美智子

1 活動目標

全ての妊産褥婦・新生児及びすべてのライフステージの女性に助産師のケアを提共するために、専門的技術力を高め、より質の高いサービスの提供を支援する。

2 委員会開催 11回

3 活動内容

(1) 助産実践能力強化研修会

テーマ『周産期領域での倫理的課題』

講師：太田尚子（静岡県立大学 教授）

日時 令和元年7月6日（土） 9：30～12：30

場所 静岡県看護協会 第1会議室 参加者 46名

内容 CLoCMiP レベルⅢ認証申請に必要なスキルアップ研修

- ・助産師のコア・コンピテンシー
- ・生命倫理を考える上での原理
- ・倫理の基盤となっている概念
- ・ケアリングと女性中心のケア
- ・助産師の倫理綱領
- ・周産期における倫理的問題
- ・障害新生児のケースから生命倫理を考える

(2) 3職能合同交流会

日時 令和元年9月21日（土） 10:00～16:00

場所 静岡県総合社会福祉会館シズウェル 参加者 121名

テーマ 「なぜ起こるのか虐待、まずその実態を知ろう」

～考えてみよう3職能で予防できること～

内容 基調講演「なぜ起こるのか虐待、虐待の実態を知ろう」

講師 中板育美（武蔵野大学看護学部 教授）

シンポジウム「静岡県内の虐待の実態を知り、予防対策を考えよう」

グループワーク「みんなで虐待予防対策を考えよう」

(3) 保健師・助産師合同集会

日時 令和2年1月25日（土） 13：00～16：00

場所 静岡県看護協会 第1研修室 参加者 63名（保健師31名 助産師32名）

テーマ 「産後ケアを病院から地域へつなぐ」取り組み事例発表会

内容 ・事例発表及びグループワーク

・情報提供 静岡県子ども家庭課より

「リトルベビーハンドブックの活用・子育て世代包括支援センターの役割」

・産後ケア事業が始まった経緯とこれからのあり方

・産後うつについて及び対応の仕方

4 今後の課題

2020年度は日本助産評価機構のアドバンス助産師の更新申請の年になります。この「助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度」が創設されて5年目になり、助産師の臨床実践を支える継続教育がオールジャパンで整備されたということは医療専門職でも画期的なことです。この制度により、それまで病院ごとで行われ多様であった現任教育も段階的に習熟が可能になりました。委員会では助産師が主体的に役割発揮できるような専門的な知識技術が取得できる研修等を計画的に進めていく予定です。

5 委員6名

(助) 杉村千春 鈴木早苗 石井彰子 永井 梓 岡本沙衣子 花田澄美

(担当理事) 西郷美智子

(Ⅲ) 看護師職能委員会 I (病院領域)

委員長 松本志保子

1 活動目標

- (1) 変化する医療提供体制の中で重要な役割を担う中間管理職の支援
- (2) つなぐ看護を実現するために 3 職能連携を図る
- (3) 准看護師の看護実践能力向上を支援する
- (4) 准看護師の進学を支援する
- (5) 准看護師進学支援研修者の進学実態調査

2 委員会開催 10 回

3 活動内容

(1) 准看護師研修会と進学支援

日 時 令和元年 7 月 6 日 (土) 10:00～16:00

場 所 静岡県看護協会 第一研修室 参加者 55 名

テーマ 「看護行為の根拠を知ろう 知るっておもしろいパートⅣ 認知症の理解～」

内 容 ・ 講義 テーマ「認知症の方への関わり方～ユマニチュードを中心に～」

・ 演習タクティールケア

講師：鈴木智子（磐田市立総合病院 認知症看護認定看護師）

・ 体験談 村松あゆみ（すずかけヘルスケアホスピタル）

・ 学校説明会、個別相談

学校法人安西学園弥富看護学校 神戸常盤大学短期大学部看護学科通信制課程

東京衛生学園専門学校

静岡県立看護専門学校

豊橋市立看護専門学校

以上 5 校参加

(2) 3 職能合同交流会

日 時 令和元年 9 月 21 日 (土) 10:00～16:00

場 所 静岡県総合社会福祉会館シズウェル 参加者 121 名

テーマ 「なぜ起こるのか虐待、まずその実態を知ろう」

～考えてみよう 3 職能で予防できること～

内 容 基調講演「なぜ起こるのか虐待、虐待の実態を知ろう」

講師 中板育美（武蔵野大学看護学部 教授）

シンポジウム「静岡県内の虐待の実態を知り、予防対策を考えよう」

グループワーク「みんなで虐待予防対策を考えよう」

(3) 中間管理者交流会

日 時 令和元年 12 月 7 日 (土) 9:45～16:00

場 所 静岡県看護協会第一研修室 参加者 112 名

テーマ 「元気になろう副看護師長」

内 容 ・ 講演

テーマ「ポジティブマネジメントの第一歩～自ら考え、行動し、助け合う組織をつくる～」

講師：市瀬博基（東京外国語大学 非常勤講師）

・ ワールドカフェ「私の役割再発見」

4 今後の課題

- (1) 中間管理職（主任・副師長対象）が抱えるジレンマについて取り上げ、気づきの統合を図ること
とでポジティブマネジメントにつなげる
- (2) 「つなぐ看護」実現のために 3 職能の交流を図る
- (3) (4) の調査結果を踏まえた准看護師の看護実践能力向上と進学支援
- (4) 准看護師進学支援研修参加者の進学実態調査結果の公表

5 委員 6 名

(看) 河野由佳子 鈴木千里 杉山久美子 杉山智美 山本和枝 渡辺富美

(担当理事) 松本志保子

1 活動目標

- (1) その人らしく“生きるを支える”ために切れ目なく連携できる看看を強化する。
 - ・認定看護師を活用した地区別研修会の開催
 - ・三職種合同交流会の開催
- (2) 施設・在宅(訪問看護・クリニック等)における看護師同志の更なる情報交換・連携を推進していく
- (3) 施設・在宅の看護管理者のネットワーク作りをし、看護師職能Ⅱの会員を増やし、組織力を強化する。

2 委員会開催 11回

3 活動内容

(1) 地区別施設看護職員研修交流会開催

ア 西部地区 令和元年10月18日(金) 13:00~16:30

場 所 浜松アクトシティ 研修交流センター 参加者 33名

テーマ「今現場で困っていることを解決しよう」 内容: 感染管理

講師 葛原健太(浜松医療センター 感染管理認定看護師)

イ 東部地区 令和元年11月22日(金) 13:00~16:30

場 所 プラザヴェルデ 401会議室 参加者 24名

テーマ「今現場で困っていることを解決しよう」 内容: 感染管理

講師 長富美恵子(順天堂大学医学部附属病院 感染症看護専門看護師)

ウ 中部地区 令和元年12月14日(土) 13:00~16:30

場 所 静岡県看護協会 第1研修室 参加者 43名

テーマ「今現場で困っていることを解決しよう」 内容: スキンケア

講師 間部 幸(順天堂大学医学部附属静岡病院 皮膚・排泄認定看護師)

(2) 3職能合同交流会

日 時 令和元年9月21日(土) 10:00~16:00

場 所 静岡県総合社会福祉会館シズウェル 参加者 121名

テーマ「なぜ起こるのか虐待、まずその実態を知ろう」

～考えてみよう3職能で予防できること～

内 容 基調講演「なぜ起こるのか虐待、虐待の実態を知ろう」

講師 中板育美(武蔵野大学看護学部 教授)

シンポジウム「静岡県内の虐待の実態を知り、予防対策を考えよう」

グループワーク「みんなで虐待予防対策を考えよう」

(3) 訪問看護ステーション在職看護職員に向けて、組織力強化のための活動

ア 静岡県看護協会入会(再入会)案内用リーフレットを作成し、研修会や施設訪問時配布

イ 訪問看護ステーションの総会や研修会・定期集会等を訪問し説明を行った上でリーフレット等を配布

4 今後の課題

- (1) 今年度は地区別研修会において「現場で起こっている困りごと」に焦点をあて、関係する認定看護師の協力の元、講演のあと、グループワークで直接悩み事が解決できる研修にした。
施設・在宅の領域は置かれている立場で方針や方法もさまざまであることから悩み事も多種多様であり今後も知識技術の自信につながる研修を目指していく。
- (2) 次年度も3職能の合同交流研修会を企画し、年齢や領域、病院・地域の枠を超えて職能全体として連携・協働ができ、切れ目のない活動ができるようにしていきたい。
- (3) 日本看護協会においても注目されている診療所勤務の看護職に関する課題発見・情報収集にむけてせめて研修会の周知が出来るように医師会の協力を求めていく。

5 委員6名

(看) 片岡由里 鈴木京子 成岡桂子 鈴木江利子 太田恵美 大村早苗

(担当理事) 戸田 美也子

推薦委員会

委員長 太田優子

1 活動目標

- (1) 静岡県看護協会の理念の実現に向け、役員などの改選に伴う選挙の執行、日本看護協会総会代議員・予備代議員選出などにあたり、活動する
- (2) 推薦に対しては透明性及び公平性を確保し、活力ある組織づくりを目指す
- (3) 候補者の人権を尊重し、立候補の届け出を考慮したうえで、開かれた公正な推薦を行う

2 委員会開催 5回

3 活動内容

- (1) 公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する推薦委員会内規と静岡県看護協会の定款・細則などの規定に基づく推薦委員会マニュアル、所掌範囲の確認
- (2) 2021年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の推薦
- (3) 2020・2021年度役員など改選による、選挙候補者の推薦
- (4) 2020・2021年度職能委員の推薦

4 今後の課題

- (1) 日本看護協会通常総会代議員、予備代議員の応募に対して、看護協会事業に参画できる機会としての関心を高める企画と実践
- (2) 推薦業務に対して、理事会などとの情報共有と連携強化

5 委員 8名

- (保) 三輪眞知子 平野幸子
- (助) 諸星浩美 岩瀬和代
- (看) 江口洋子 原弘子 増田伊佐世 太田優子
- (担当理事) 柏崎順子

委員会

(I) 教育委員会

委員長 増田良江

1 活動目標

- (1) 研修の目的を理解し、受講者の目的達成のために支援する
- (2) 研修結果から受講者のニーズと企画意図を分析・評価する
- (3) 研修ニーズを調査し、臨床現場で看護職に求められる知識・技術・態度を教育計画に反映させる
- (4) 医療・看護の情勢や動向および前年度の研修評価を踏まえ、研修を企画する
- (5) 一般研修で得られたデータや資料を今後の教育計画に繋げる

2 委員会開催 10回

研修開催 19 コース 27 日間

3 活動内容

(1) 教育研修の企画・運営

研修 19 コース中 13 コースが新企画であった。専門領域で幅広い活躍をされている講師と共に、県内の専門看護師、認定看護師、実践者に講師、ファシリテーター、実践報告を依頼することで、看護実践の場で活用できる研修を企画した。グループワーク、演習が活発に行われ学びが得られるよう環境整備に努めた。アンケート結果から、研修生のニーズに合った内容であったと評価した。

ア 看護実践能力の育成

- ・病院・施設・在宅 どうつなぐ認知症ケア 5/21
- ・必修！がん放射線治療のケアにつながるアセスメントを明らかにする 5/31

- ・おさえておきたい糖尿病看護の基礎 7/1
- ・臨床推論を活かして看護力を高めよう 7/29、7/30、11/11
- ・その人らしい人生の最終段階の実現に向けた高齢者の看取り 9/7
- ・看護倫理の考え方ーみんなで考える倫理問題ー 9/26、9/27
- ・入院前から始まる周手術期の看護 10/2
- ・意思決定の支援ーあなたは支援者になっていますかー 10/29
- ・中範囲理論を活用した根拠ある看護実践 11/25、12/2
- ・生活を支える脳卒中リハビリテーション看護ー看護職の果たす役割ー 2020年1/16

イ 組織的役割遂行能力の育成

- ・コンピテンシーを基盤とした看護管理ー成長する組織づくりー 6/1
- ・OJT トレーナー研修ー後輩育成に活かすコーチングスキルー 6/3
- ・シミュレーションにおける効果的な指導を学ぶ 6/8、6/9
- ・スタッフの倫理的感性を磨く看護管理者をめざす 8/10
- ・これにつかえる「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」8/9、9/5、12/6
- ・最新の感染予防ー高齢者施設・在宅における感染予防対策の実際ー 8/30
- ・最新の感染予防ー感染予防リンクナースの役割ー 8/30、8/31
- ・看護リフレクションー経験から学び、成長、サポートできる管理者ー 2020年1/11

ウ 自己教育の推進

- ・看護職を楽しむ「わたし」の生き方 10/18

(2) 研修後の評価

- ・研修 19 コース 27 日間、応募者数 1,688 名、受講者 1,292 名、参加率 97%
- ・参加者のアンケート結果より、内容の理解、満足度、活用度、参加目的の達成度は高評価が得られていた。

(3) 広報活動

- ・ホームページに研修のご案内のチラシを掲載し、研修の企画意図、内容が伝わるようにした。
- ・「看護しずおか」の教育研修部だよりに研修記事を掲載し、研修への関心を高めるようにした。

4 今後の課題

- (1) 継続して会員のニーズ、社会の要請に応え、助産師、保健師、看護師、准看護師が参加する研修企画を行う。
- (2) 静岡県看護協会で開催する研修の企画意図を、アンケート結果や総合評価及び日本看護協会教育計画との整合性を確認しながら明確にしていく。
- (3) 研修目的を達成するため、研修環境の整備、支援に取り組む。

5 委員 8名

(保) 鈴木富士子

(看) 増田良江 下山美穂 三井景子 本家淳子 野澤里美 長坂信次郎 高橋円香

(担当理事) 櫻井郁子

(II) 広報委員会

委員長 稲葉やす子

1 活動目標

会員及び一般県民への協会活動の周知と会員相互の情報交換を推進する。

2 委員会開催 11回

3 活動内容

(1) 「看護しずおか」の発行

広報誌「看護しずおか」では、今年度から VOL. 1 に特集として静岡県看護協会定時総会概要版

を、VOL. 2に定時総会の様子を掲載し、会員へ周知した。研修報告は最近話題の「ハラスメント対応について学ぶ」を掲載し好評だった。また、今年度初めて保健師職能委員会、助産師職能委員会、看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱが3職能で協働した研修会「なぜ、起こるのか虐待、まずその実態を知ろう」を特集した。例年の3職能委員会活動報告にかえて看護協会委員会活動を紹介し、会員に看護協会活動を知って貰うよう努めた。

また、新卒で働き始めたばかりの保健師、助産師、看護師を掲載し、好評の看護職の夫婦、子年生まれの看護師等の紹介や地区支部活動報告等、より多くの会員の顔や声が読者に届くように特集を組んだ。

「活躍する認定看護師」は「人の一生を支える看護」に衣替えし、多くの看護職に登場していただけるようシリーズ化した。取材による「先人に聞く看護の道しるべ 忘れられない看護」の連載、様々な方面で活躍する看護職を紹介する「お仕事拝見」等看護職の活躍を紹介し、紙面の充実に努めた。

(2) モニター活動

各職能委員会より推薦されたモニター11人から「看護しずおか」各号に対する意見をアンケートにより聞いた。

また、モニター会議（令和元年8月6日（火）開催）では、静岡大学教育学部特任教授であり、ふじのくに文化情報センター長の平野雅彦氏に『『デザイン思考』を身につける』と題して講演を依頼した。その後、全員で意見交換を行った。

4 今後の課題

協会活動や看護・医療の情報提供の充実に努めると共に、幅広い方々の意見を聞き、興味深く読みやすい紙面作りに努めていきたい。

5 委員 7名

(保) 稲葉やす子 杉山眞澄
(助) 松前勝美 齋藤佐知子
(看) 村上香奈子 三田雅也 萩山裕美子
(担当理事) 柏崎順子

(Ⅲ) 災害看護対策委員会

委員長 勝間田敏宏

1 活動目標

(1) 災害対策に関する意識の啓発を図り災害支援に関する事業を推進する。

- ア 災害支援ナースの育成事業の実施及び構築をする。
- イ 地区支部と協力し、恒常的に地域住民に対し減災の啓発および支援を推進する。
- ウ 会員に対して、災害に関する意識の啓発を図る。

2 委員会開催 8回

3 活動内容

(1) 災害支援ナース登録者研修

日時 令和元年8月29日（木）
場所 グランシップ 交流ホール
参加者 343名
内容 ・講演「南海トラフ地震に関する新たな防災対応への県の検討状況と災害支援ナースに期待すること」
講師 後藤雄介（静岡県危機管理部危機管理政策課長）
・シンポジウム 災害現場における多職種の支援活動と連携

シンポジスト 川田敦子（静岡県健康福祉部健康増進課 班長）
橋本茂昭（日本赤十字社 静岡県支部 事業推進課長）
高橋美智子（磐田市立総合病院 看護師長）

(2) 災害看護一般研修Ⅰ

日 時 令和元年 5 月 24 日 (金)
場 所 静岡県看護協会第 1 研修室
参加者 117 名
内 容 「災害の基礎知識 クロスロード
講師 川田祥乃 (静岡県中部危機管理局主査)
望月俊明 (コミュニティホスピタル甲賀病院 救急看護認定看護師)

(3) 災害支援ナース育成研修

日 時 令和 2 年 1 月 26 日 (日) ~ 28 日 (火)
場 所 静岡県看護協会第 1 研修室
参加者 68 名
内 容 災害看護の基本、こころのケア・机上シミュレーション・避難所体験
チームビルディング・クロスロード・非常食の試食
講師 山崎達枝 (長岡嵩徳大学看護学部看護学科 准教授)

(4) 災害看護一般研修Ⅱ

日 時 令和元年 10 月 11 日 (金)
場 所 静岡県看護協会第 1 研修室
参加者 34 名
内 容 ロジスティックスを意識した看護
講師 勝間田敏宏 (静岡県看護協会 災害看護対策委員会委員長)

4 今後の課題

- (1) より多くの会員が参加できる研修の場と魅力的な研修企画
- (2) 災害支援ナースのモチベーションの維持に貢献できる研修の企画
- (3) 災害看護対策委員会委員として地域の貢献方法検討
- (4) 非協会員に対して災害看護教育の在り方の検討

5 委員 6 名

(看) 勝間田敏宏 池谷綾子 野邊あゆみ 加茂知美 牧田美佳 小梁はるみ
(担当理事) 柏崎順子

(IV) 働き続けられる職場づくり推進委員会

委員長 市川幸子

1 活動目標

看護職が健康で安全・安心して働き続けられるために、労働環境の整備と医療安全を中心に研修などの啓発普及並びに交流活動を実施する。

2 委員会開催 10 回

3 活動内容

(1) 第 1 回労働環境に関する研修会

テーマ ハラスメント対応について学ぶ

日 時 令和元年 6 月 22 日 (土) 9 : 30 ~ 16 : 30

場 所 静岡県総合研修所 もくせい会館

参加者 70 名 (看護管理者)

講 師 三木 明子 (関西医科大学看護学部・看護学研究科)

目 的 看護職がハラスメント対策について正しい知識を学ぶことで、働き続けられる職場づくりを推進することができる。

研修内容 ・ハラスメントを取り巻く社会の動きと用語の整理
・パワーハラスメントについての被害実態と管理者の役割と対策
・暴力・ハラスメントの定義と具体的事例と対策

(2) 第2回労働環境に関する研修会

テーマ ベテラン看護職がやりがいを持って、これからも働き続けられるために

日時 令和元年11月9日(土) 9:30~16:30

場所 静岡県看護協会

参加者 48名(臨床経験の長いベテラン看護職員・役職者は除く)

講師 岸 良範(高輪心理臨床研究所・茨木大学名誉教授・福島学院大学教授)

目的 役職を持たず現場で働いているベテラン看護職自身が、自ら看護を振り返り仲間とともに語りリフレッシュすることで、前向きに働き続けられることができる。

研修内容

- ・豊かに働くためのポイント「認めるー認められる」ことの大切さ
- ・「伝える」から「分かりあう」そして「対話力」へ
- ・創造的対話を考えるために、話を聴くときのポイント

(3) 広報活動

目的 「看護しずおか」に医療安全情報を掲載(6回)することにより、医療安全の推進を図る。掲載内容は、「公益社団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報」が広く周知されるよう重要と判断した内容を主に抜粋した。

4 今後の課題

看護職が健康で安全・安心して働き続けられるためには、労働環境の整備と医療安全を中心に研修などの啓発普及並びに交流活動は重要な取り組みであり、次年度も継続が必要である。

また、それに加えて、看護の現場で起こっている問題などを把握し、そのニーズに即した研修内容も検討していく。

5 委員 6名

(助) 西岡恵美

(看) 市川幸子 渥美直美 上田理恵子 松井千賀子 米津苗子

(担当理事) 松井順子

(V) 学術研究推進委員会

委員長 爪田久美子

1 活動目的

本委員会は、静岡県看護協会の教育目的・目標に基づき、看護の質の向上を図ることにより人々の健康と福祉に貢献するため、看護研究の推進と研修事業の充実を図ることを目的としている。

2 委員会開催 7回

3 活動内容

(1) 第8回 静岡県看護学会の開催

日時 令和2年1月18日(土) 10時~16時30分

場所 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 10階

参加者 363名(発表者と関係者含む)

テーマ 看護の未来を創造しよう ~私の経験を意味づける~

発表演題 20題 ① 口演 8題 ② 示説 12題

基調講演 看護の未来を創造しよう ~私の経験を意味づける~

講師 秋山 智弥(岩手医科大学看護学部 日本看護協会副会長)

座長 爪田 久美子(聖隷浜松病院)

シンポジウム 看護の未来を創造しよう ~私の経験を意味づける~

シンポジスト

野澤 陽子(順天堂大学医学部附属静岡病院)

氣田 千恵美(介護老人保健施設ケアセンター池田の街)

高山 幸佳(浜松医科大学医学部看護学科2年)

川添 高志(ケアプロ株式会社)

座長 片山 はるみ(浜松医科大学)

書籍展示 1社

(2)「看護研究の第一歩」東部・中部地区で開催 各1日(参加者計94名)

ア 7/6 順天堂大学 三島キャンパス 40名

講師 小川典子(順天堂大学保健看護学部)

イ 6/19 静岡県看護協会 54名

講師 白尾久美子(日本福祉大学)

(3)「看護研究の基礎」東部・中部地区で開催 各3日間(参加者計40名)

ア 8/8,9,9/12 順天堂大学 三島キャンパス 17名

講師 近藤ふさえ 岩清水伴美 酒井太一(順天堂大学保健看護学部)

イ 8/22, 8/23, 9/21 静岡県看護協会 23名

講師 白尾久美子(日本福祉大学)

(4)「効果的なプレゼンテーション技法」(参加者計53名)

日時 10/26

場所 静岡県看護協会

講師 坂尾英明(株式会社メディカルクリエイト)

(5)本年度の静岡県看護協会看護研究費助成金交付事業への申請はなかった。

4 今後の課題

(1)学会の内容の質の向上と充実を図る。

ア 査読者から、研究者自身が研究課題に向けてより質の高い研究が創出できるよう査読時には査読者と数回のコメントのやりとりを行う。

イ 看護研究に関する倫理的配慮とその記載方法を徹底する。

ウ 演題数の増加を図る

- ・本委員会の研修を学会発表に繋がられるように支援する。(研修後アンケートを活用し、支援方法の検討)

- ・機関紙「看護しずおか」、県看護協会ホームページへの掲載、県看護協会主催の研修前にスライド映写を実施するなど看護学会を広範囲に広報する。

エ 参加者の増加を図る。

- ・学会テーマやシンポジウムなどで、臨床現場の状況に則したテーマを選択し、企画する。

- ・積極的に、広範囲に広報する。

オ 学会参加者に満足いただけるように、ホスピタリティーのある対応を心がける。

カ 口演発表と、示説の両方に参加できるようにプログラムを企画する。

(2)研究に繋がる系統的研修を実施する。

- ・「看護研究の第一歩」、「看護研究の基礎」、「効果的なプレゼンテーション」の3つの研修が看護研究に繋がるような、系統的な研修となるように計画する。

(3)看護実践の中にある研究動機を大切に、臨床での研究活動が活性化されるよう、看護研究費助成金交付事業について広報する。

5 委員 6名

(助) 爪田久美子

(看) 小野田弓恵 清好志恵 安田真美 片山はるみ 横井志保

(担当理事) 櫻井郁子

特別委員会

(I) 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 津島準子

1 活動目的

認定看護管理者教育課程の運営のための検討を行い、教育機関として質の維持・向上を図る。

2 活動目標

- (1) 様々な受講ニーズを踏まえ、各教育課程の開講の企画・運営について検討する。
- (2) ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル教育課程を開講する。
- (3) 静岡県内の認定看護管理者の活動を支援する。

3 委員会開催 5回

セカンドレベルフォローアップ実践報告の出席 1回

4 活動内容

(1) 委員会

- ア ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルの運営と評価
- イ セカンドレベルフォローアップ実践報告の運営と評価
- ウ 令和2年度の教育課程開催要綱及びカリキュラムの検討（ファースト・セカンド）
- エ 令和2年度ファーストレベル教育課程の応募者数の見直しと選考方法の検討

(2) 教育課程の運営

ア ファーストレベル教育課程

- ・開講期間 令和元年5月14日～6月27日 117時間（22日間）
（教科目105時間と特別講義12時間）
- ・定員80名 応募者128名 受講者84名、修了者84名
- ・県内認定看護管理者9名に講師を依頼

イ セカンドレベル教育課程

- ・開講期間 令和元年10月16日～令和2年1月31日 183時間（33日間）
- ・定員30名 応募者44名 受講者35名 修了者35名
- ・県内認定看護管理者14名に講師とコーディネーターを依頼

ウ セカンドレベルフォローアップ研修

- ・開催日 令和元年8月6日 6時間（1日間）
- ・対象 平成30年度セカンドレベル修了生34名が参加

エ サードレベル教育課程

- ・開講期間 令和元年7月4日～10月30日 186時間（33日間）
- ・定員30名 応募者30名 受講者30名 修了者30名
- ・県内認定看護管理者6名に講師とコーディネーターを依頼

(3) 静岡県内の認定看護管理者の活動の支援

- ・静岡県内の認定看護管理者を講師として登用する

5 今後の課題

- (1) 今年度から新カリキュラムの新たな枠組みにあわせて、教科目名と時間数を設定した。教科目には教育内容の深度がわかるように課程に応じてⅠ、Ⅱ、Ⅲと表記した。そのため3課程の到達目標が明確となった。
- (2) 次年度は、サードレベルが休講のためファーストレベルの受講者数を120名とし2回の開催となった。
このことで幅広く看護管理に関する人材の育成につながると考える。
- (3) 認定看護管理者教育課程への、受講者の多様化に応じた様々な受講ニーズへの対応が必要である。

6 委員 7名

(看) 津島準子 櫻井真理子 小川典子 平野一美 鈴木美恵子 齋藤伸子 松井泰子
(担当理事) 櫻井郁子

(Ⅱ) 看護の日・週間企画実行委員会

委員長 鈴木恵美子

1 「看護の日」事業目的

事業目的:「看護の心」の普及啓発を通じて、国民一人一人の看護に対する関心を高め理解を得るとともに、看護の明るいイメージを図ることにより看護職員等の就業を促進し、活気ある長寿社会づくりに寄与する。

2 委員会開催 8回

3 活動内容

テーマ 「看護の心をみんなの心に」

サブテーマ 「いざというときあなたもまちの看護師さん」～災害に備えて～

「まちの保健室」を通し、生活習慣や健康づくりに関して、興味関心に繋がる機会にする。また、災害時の看護師の活動を知っていただくと共に、いざという時に備え、自分の身の安全を守る「自助」、地域や身近にいる人同士の助け合い「共助」について学び、備えへの第1歩とする。

日時 令和元年5月11日(土) 9:45～17:00

場所 イオン浜松志都呂 1F セントラルコート

担当者 実行委員7名、協力員31名、ナースセンター5名

来場者 344名

内容

(1) まちの保健室

骨密度測定・血管機能検査・血圧測定・健康相談

(2) 災害に備えて(ミニ講座)

口腔ケア・エコノミークラス症候群予防体操・災害救助犬物語

災害支援ナースの役割・応急処置

(3) 心肺蘇生法実演(AEDの使い方)

(4) 災害支援写真展

(5) プリティーナース撮影会

(6) 展示:段ボール製トイレ・ペットボトルスプーン・ペットボトルランタン

新聞スリッパ・口腔ケア用品

(7) 看護職の就業・進路相談

(8) 医療安全

4 まとめ及び今後の課題

アンケートを実施し、回収228名(回収率66.2%)

イベント会場がイオンモール内であったことから、参加者の約80%が買い物に来たついでに立ち寄っている。来場者の70%が女性、年齢層は30代から50歳代が多かった。居住地は、浜松市民67%で、まちの保健室に興味関心が集まった。全体評価として、満足度は高く、89%の来場者が満足またはまあ満足と答えている。健康に関する意識は高く、自由記載からは「自分の健康状態を知る良い機会だった」「勉強になった」という意見が多く寄せられた。このことから、健康に関して興味関心を持っていただく機会になったと判断する。災害については、ミニ講座は体験型の講座が人気で、災害支援写真展・防災用品の展示にも興味を持っていただいた。

今後の課題としては、イベント会場内の案内掲示について、特にミニ講座については、プログラムで、時間や講演内容を明確にするなど、案内表示の工夫が必要であった。また、骨密度測定では、事前に素足になることをお知らせしてほしいという意見も聞かれ、アナウンスの方法にも課題が残った。健康相談については、相談内容により、プライバシーへの配慮と対策が必要であった。

また、写真展など、インターネットからのデータ使用については、データの使用許可や著作権の問題など、画像や文書を公に使用する際の注意や手順について、基準を作成し明確に示す必要性がある。

5 委員 7名

(看) 鈴木恵美子 八木 純 大石光記 津島準子 岩品希和子 沖村宏美 鈴木 緑
(担当理事) 鈴木千春